

新型コロナウイルス感染症対策に係る中央公民館の利用について

施設の利用については、次の条件を確認したうえで許可いたします。施設利用の代表者は、利用される方々への事前周知を徹底してください。

また、別紙チェックリストを記入し、利用後提出してください。

1 基本的な感染症対策の実施

(1) 感染源を絶つこと

- ・来館前に検温してくることを徹底してください。
- ・発熱等の風邪の症状が見られる方、体調がすぐれない方は利用しないでください。

(2) 感染経路を絶つこと

- ・手洗いやマスクの着用を含む基本的感染防止対策をしてください。
- ・使用後は、使用した施設設備の消毒を実施してください。特に、多数の人が触れる場所は重点的に実施してください。
- ・飲食が必要な場合は、感染防止対策を講じた上で、静かに行ってください。また、会話時はマスク着用（マスク会食）を徹底してください。

2 集団感染のリスクへの対応

(1) 密閉しない

- ・換気扇の常時稼働及び複数の窓、扉を1時間に2回以上開放し換気を行ってください。

(2) 密集しない

- ・利用者同士の間隔を最低1m（できれば2m）空けて活動してください。
※間隔を確保するため、各施設の利用定員の目安を設定しています。
※長机を利用する場合、机1台につき2名のみ利用となります。
- ・少人数ごとに分けて活動するなどの工夫をしてください。

(3) 密着しない

- ・身体的接触のある活動は行わないでください。
- ・呼吸が激しくなる活動は行わないでください。
- ・対面で行うグループ討論やワークショップ等を行わないでください。
- ・対面着席する場合は、2m以上距離を空けてください。

(4) 参加者名簿の作成

- ・代表者（主催者）は、参加者名簿を作成し、連絡先を把握しておいてください。（感染者が出た場合に追跡するための措置です。参加者名簿は代表者が管理してください。）

3 合唱・朗読等を行う際は、特に次の事項を守って活動してください。

- ・大声または大人数での歌唱、声援行為は、少人数毎に分けて行ってください。
- ・円陣になりお互いに対面した歌唱、声援行為は行わないでください。
- ・歌唱、声援する者以外はマスクの着用を基本としてください。
- ・換気扇の常時稼働及び複数の窓、扉を常時開放して換気を行ってください。
- ・利用の前後の間隔は、換気・消毒等を十分に行えるだけの時間を設けてください。

- 4 イベント等の際は、特に次のような点に注意してください。
 また、主催者は来場者に注意事項を厳守するよう指示してください。
- ・入場者数の制限や滞在時間が短時間となるよう実施してください。
 - ・すべての来場者の連絡先を把握しておいてください。
 - ・来場者の入退場時の密集を回避してください。
 - ・行列ができる場合は、列の間隔を確保するための床サイン等を実施してください。
 - ・飛沫防止のため、ステージと客席との間に十分な距離を確保してください。
 - ・ステージ出演者同士の間隔を最低1 m以上（できれば2 m）確保してください。
 - ・マイクの使い回しは禁止とします。特に管楽器は個人利用を徹底し、他人が触れないようにしてください。また、適宜消毒を実施してください。
 - ・観客が声をあげたり、接触するような演出は禁止とします。
 - ・楽屋などでの3密の回避を徹底してください。
 - ・ステージ出演者への声援や歌唱、入り待ちや出待ちは禁止とします。
 - ・出演者に対する検査の活用、徹底を図ってください。
- 5 利用者から感染者が出た場合には、東濃保健所（0572-23-1111 内線 361）の調査に協力してください。また、濃厚接触者に該当した場合は、2週間を目安に自宅待機等の要請があるため、その要請に応じてください。

【各施設の利用定員の目安】

施設名		定員の目安（人）	机の数（台）
1 F	第 1 研修室	32	16
	リハーサル室	18	—
	和 室	28	—
	創 作 室	10	—
2 F	第 2 研修室	10	8
	視 聴 覚 室	32	16
	展 示 室	30	—
3 F	展 示 室	20	—
	講 堂	100（椅子のみ利用120）	50
文化ホール		384	—
舞台のみ		50	—
ホワイエ		70	—
楽屋第 1		3	—
楽屋第 2		8	—
楽屋第 3		8	—
楽屋第 4		6	—

※利用施設の変更に伴う利用料は、変更後の施設の利用料となります。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、貸館の停止または定員数のさらなる制限がかかる可能性があります。予めご了承ください。